



平成 22 年 12 月期 第 1 四半期決算短信

上場会社名 六甲バター株式会社
 コード番号 2266 URL <http://www.qbb.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 哲夫
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 大川 良
 四半期報告書提出予定日 平成 22 年 5 月 13 日
 配当支払開始予定日 —

平成 22 年 5 月 7 日
 上場取引所 大

TEL(078) 231-4681

(百万円未満切捨て)

1. 平成 22 年 12 月期第 1 四半期の連結業績(平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------------|-------|-----|------|------|------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 22 年 12 月期第 1 四半期 | 8,646 | 1.2 | 911 | 15.1 | 909 | 10.9 | 526 | 22.7 |
| 21 年 12 月期第 1 四半期 | 8,543 | — | 791 | — | 820 | — | 428 | — |

| | 1 株 当 たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1 株 当 たり 四半期純利益 |
|-------------------|--------------------|-------------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 22 年 12 月期第 1 四半期 | 26.13 | — |
| 21 年 12 月期第 1 四半期 | 21.28 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 22 年 12 月期第 1 四半期 | 22,638 | 11,178 | 49.4 | 555.22 |
| 21 年 12 月期 | 24,057 | 10,814 | 45.0 | 537.12 |

(参考)自己資本 22 年 12 月期第 1 四半期 11,178 百万円 21 年 12 月期 10,814 百万円

2. 配当の状況

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | |
|----------------|----------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 21 年 12 月期 | — | 0.00 | — | 10.00 | 10.00 |
| 22 年 12 月期 | — | — | — | — | — |
| 22 年 12 月期(予想) | — | 0.00 | — | 7.50 | 7.50 |

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成 22 年 12 月期の連結業績予想(平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、第 2 四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|---------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第 2 四半期連結累計期間 | 17,400 | △0.4 | 1,580 | △13.3 | 1,600 | △13.1 | 910 | △15.0 | 45.18 |
| 通 期 | 35,800 | △0.2 | 2,660 | △35.2 | 2,650 | △34.5 | 1,550 | △32.4 | 76.96 |

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
[(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他を御覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無
- ② ①以外の変更 : 有

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|----------------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年12月期第1四半期 | 21,452,125株 | 21年12月期 | 21,452,125株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年12月期第1四半期 | 1,319,011株 | 21年12月期 | 1,317,152株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年12月期第1四半期 | 20,133,881株 | 21年12月期第1四半期 | 20,147,100株 |

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記述は、業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定及び本日現在における入手可能な情報を前提としており、実際の業績等は様々な要因で大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想に関しましては、3ページ「定性的情報・財務諸表等 3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジアを中心とする海外経済の回復や政府の経済対策の効果により、一部に景気回復の兆しが見られたものの、全般的には引き続き厳しい状況で推移しました。

当社グループの主力分野であるチーズ業界におきましては、原料面では再び輸入原料チーズ価格が高騰いたしました。一方、需要面では昨夏以降家庭用チーズが伸張しております。

このような状況のなか当社グループといたしましては、食の安全・安心の確保を最重点としながら、販売の促進に注力するとともに新製品の開発、コストの低減に努めました。今春の新製品としては、チーズ部門ではヘルシーシリーズとして「チーズDEヘルシースライスチーズ7枚入」、「チーズDEヘルシー塩分1/3カットとろけるチーズ」を発売するとともに「大きいホットチリペッパーとろけるスライス7枚入」、「ディズニーポコットチーズ4個入」等を発売いたしました。ナッツ部門では栄養機能食品として「ナチュラルセレクション食塩無添加アーモンド」、「ナチュラルセレクション食塩無添加カシューナッツ」、「ナチュラルセレクション食塩無添加黒大豆」を発売いたしました。これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は86億4千6百万円（対前年同四半期比1.2%増）、営業利益は9億1千1百万円（前年同四半期営業利益7億9千1百万円）、経常利益は9億9百万円（前年同四半期経常利益8億2千万円）、四半期純利益は5億2千6百万円（前年同四半期純利益4億2千8百万円）となりました。売上高の内訳はチーズ部門が80億5千1百万円（対前年同四半期比103.0%）、ナッツ部門が2億3千2百万円（対前年同四半期比84.2%）、チョコレート部門が3億2千9百万円（対前年同四半期比79.6%）、その他部門が3千2百万円（対前年同四半期比98.8%）となっております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（1）資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産は、現金及び預金が1億7千6百万円、流動資産の繰延税金資産が1億6千7百万円増加しましたが受取手形及び売掛金が13億2千万円、短期貸付金が4億9千8百万円減少したこと等により前連結会計年度末と比較し14億1千8百万円減少し、226億3千8百万円となりました。また、負債は、未払法人税等が10億8千3百万円、流動負債のその他が5億7千9百万円減少したこと等により前連結会計年度末と比較し17億8千1百万円減少し、114億6千万円となりました。

純資産は、当第1四半期純利益の計上により5億2千6百万円増加しましたが配当金の支払により2億1百万円減少したこと等により前連結会計年度末と比較し3億6千3百万円増加し、111億7千8百万円となりました。

（2）キャッシュ・フローの状況

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは1億8千2百万円の収入となりました。主な要因は税金等調整前四半期純利益の増加と売上債権の減少による収入であります。（前年同四半期は13億2千4百万円の収入）

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは5億2千9百万円の支出となりました。主な要因は定期預金の預入による支出と有形固定資産の取得による支出であります。（前年同四半期は5億1千4百万円の支出）

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは2億3千6百万円の支出となりました。主な要因は配当金の支払による支出と短期借入金の返済による支出であります。（前年同四半期は1億5千8百万円の支出）

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて5億8千3百万円減少し19億7百万円（前連結会計年度末は24億9千万円）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績が概ね計画通りに進捗しているため、平成22年2月12日発表のままとし、業績見通し等に変更が生じる場合には速やかにお知らせいたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出につきましては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行っております。

③繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 表示方法の変更

(四半期連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間において営業外費用の「その他」に含めて表示しておりました「支払手数料」は、営業外費用の総額の100分の20を超えたため区分掲記しております。

なお、前第1四半期連結累計期間の営業外費用の「その他」に含まれる「支払手数料」は1,700千円であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日) |
|---------------|-------------------------------|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,214,282 | 3,038,250 |
| 受取手形及び売掛金 | 7,417,090 | 8,737,912 |
| 商品及び製品 | 1,030,847 | 1,067,555 |
| 仕掛品 | 59,869 | 73,102 |
| 原材料 | 1,041,477 | 925,347 |
| 短期貸付金 | 1,505,240 | 2,004,227 |
| 繰延税金資産 | 721,571 | 554,123 |
| その他 | 302,244 | 178,545 |
| 貸倒引当金 | △155 | △154 |
| 流動資産合計 | 15,292,468 | 16,578,908 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 4,831,499 | 4,834,778 |
| 減価償却累計額 | △3,281,830 | △3,259,394 |
| 建物及び構築物（純額） | 1,549,668 | 1,575,383 |
| 機械装置及び運搬具 | 8,447,040 | 8,570,062 |
| 減価償却累計額 | △6,373,378 | △6,442,448 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 2,073,661 | 2,127,614 |
| 土地 | 1,121,756 | 1,121,756 |
| 建設仮勘定 | 58,761 | 128,552 |
| その他 | 515,443 | 485,124 |
| 減価償却累計額 | △384,943 | △384,748 |
| その他（純額） | 130,500 | 100,375 |
| 有形固定資産合計 | 4,934,348 | 5,053,682 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 9,500 | — |
| ソフトウェア仮勘定 | 107,910 | 108,024 |
| その他 | 12,072 | 12,078 |
| 無形固定資産合計 | 129,482 | 120,102 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 789,495 | 777,045 |
| 長期貸付金 | 8,218 | 6,823 |
| 繰延税金資産 | 267,827 | 271,879 |
| その他 | 1,228,213 | 1,258,067 |
| 貸倒引当金 | △11,396 | △9,476 |
| 投資その他の資産合計 | 2,282,359 | 2,304,341 |
| 固定資産合計 | 7,346,190 | 7,478,126 |
| 資産合計 | 22,638,658 | 24,057,034 |

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日) |
|--------------|-------------------------------|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 3,669,565 | 3,729,490 |
| 短期借入金 | 1,500,000 | 1,590,000 |
| 未払法人税等 | 578,699 | 1,662,264 |
| 未払費用 | 2,690,549 | 2,604,033 |
| 株主優待引当金 | — | 8,270 |
| 役員賞与引当金 | — | 50,000 |
| その他 | 577,579 | 1,156,857 |
| 流動負債合計 | 9,016,394 | 10,800,916 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 2,014,531 | 2,011,731 |
| 長期未払金 | 429,266 | 429,266 |
| その他 | 200 | 200 |
| 固定負債合計 | 2,443,997 | 2,441,198 |
| 負債合計 | 11,460,391 | 13,242,115 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,843,203 | 2,843,203 |
| 資本剰余金 | 2,409,014 | 2,409,014 |
| 利益剰余金 | 5,989,329 | 5,664,533 |
| 自己株式 | △419,399 | △418,590 |
| 株主資本合計 | 10,822,148 | 10,498,161 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 253,281 | 243,760 |
| 繰延ヘッジ損益 | 102,835 | 72,998 |
| 評価・換算差額等合計 | 356,117 | 316,758 |
| 純資産合計 | 11,178,266 | 10,814,919 |
| 負債純資産合計 | 22,638,658 | 24,057,034 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 8,543,870 | 8,646,292 |
| 売上原価 | 5,089,358 | 4,620,560 |
| 売上総利益 | 3,454,512 | 4,025,732 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,662,762 | 3,114,391 |
| 営業利益 | 791,749 | 911,341 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3,258 | 1,578 |
| 受取配当金 | 195 | 145 |
| 為替差益 | 41,048 | 8,220 |
| その他 | 3,704 | 3,369 |
| 営業外収益合計 | 48,207 | 13,314 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 13,343 | 4,953 |
| 支払手数料 | — | 5,250 |
| その他 | 6,592 | 5,017 |
| 営業外費用合計 | 19,936 | 15,221 |
| 経常利益 | 820,020 | 909,434 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 8,000 | — |
| 特別利益合計 | 8,000 | — |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 47,871 | — |
| 固定資産廃棄損 | 3,695 | 12,191 |
| 特別損失合計 | 51,567 | 12,191 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 776,453 | 897,242 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 615,058 | 557,058 |
| 法人税等調整額 | △267,405 | △185,962 |
| 法人税等合計 | 347,653 | 371,096 |
| 四半期純利益 | 428,799 | 526,146 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 776,453 | 897,242 |
| 減価償却費 | 178,621 | 190,752 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | 19,655 | 2,799 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △7,992 | 1,920 |
| 受取利息及び受取配当金 | △3,454 | △1,724 |
| 支払利息 | 13,343 | 4,953 |
| 為替差損益 (△は益) | △41,048 | △8,220 |
| 有形固定資産廃棄損 | 3,695 | 12,191 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | 47,871 | — |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 1,346,441 | 1,320,821 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 228,032 | △66,189 |
| その他の流動資産の増減額 (△は増加) | 11,419 | △73,577 |
| その他の固定負債の増減額 (△は減少) | 60,424 | 29,860 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △963,494 | △59,924 |
| 未払費用の増減額 (△は減少) | 27,897 | 86,466 |
| その他 | △128,942 | △538,246 |
| 小計 | 1,568,924 | 1,799,126 |
| 利息及び配当金の受取額 | 3,454 | 1,724 |
| 利息の支払額 | △13,749 | △4,794 |
| 法人税等の支払額 | △233,649 | △1,613,769 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,324,979 | 182,286 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △246,266 | △815,224 |
| 定期預金の払戻による収入 | — | 56,022 |
| 有価証券の売却による収入 | 10,000 | — |
| 有形固定資産の取得による支出 | △278,228 | △213,413 |
| 無形固定資産の取得による支出 | — | △53,274 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △786 | △756 |
| 短期貸付金の増減額 (△は増加) | 1,037 | 497,592 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △514,243 | △529,054 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の返済による支出 | — | △90,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △53,000 | — |
| 配当金の支払額 | △104,514 | △145,593 |
| その他 | △1,058 | △808 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △158,573 | △236,402 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 1,366 | — |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 653,529 | △583,170 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,010,469 | 2,490,365 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 2,663,999 | 1,907,194 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至平成21年3月31日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年3月31日）において、事業の種類として「食料品の製造販売業」のみの単一事業を営んでいるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至平成21年3月31日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年3月31日）において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店はありませんので、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至平成21年3月31日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年3月31日）において、海外売上高はありませんので、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。